2023/3期第1四半期
決算説明会資料

2022年8月19日
株式会社イーディーピー
東証グロース
（証券コード：7794）

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

見通しに関する注意事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

目次

Ⅰ 当社の概要

Ⅱ 主要なポイント

Ⅲ 2023/3期1Q決算実績

Ⅳ 2023/3期通期見通し

APPENDIX

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

当社の概要

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

ダイヤモンドも、人工宝石（LGD*）に置き換えられる時代が迫る

薄板状のダイヤモンド単結晶を製造し、
LGDの製造に必要な種結晶を販売。
種結晶の世界的なブランド企業である、
グローバルカンパニー

＊： LGD＝ Laboratory Grown Diamond

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

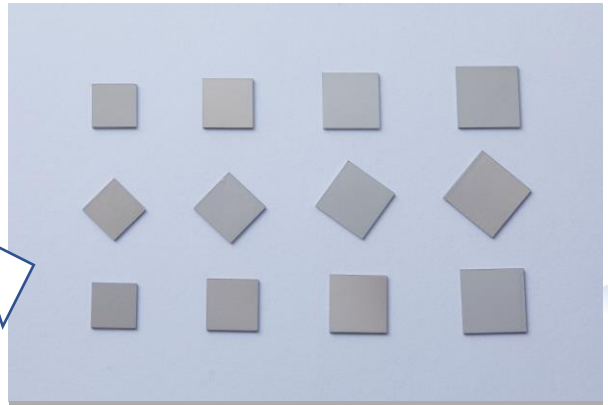
LGDのサプライチェーン

LGD（人工ダイヤモンド宝石）製造に
必須の原材料を供給

薄い板状の単結晶素材を
製作

20x20x0.3mmのモザイク結晶
薄くて大きい結晶を直接作る技術

0.3mm厚LGD製造用
種結晶



1カラットから3.5カラットの
宝石を作るのに使用する種結晶

当社の主要製品

4.5mm厚に
成長させた結晶

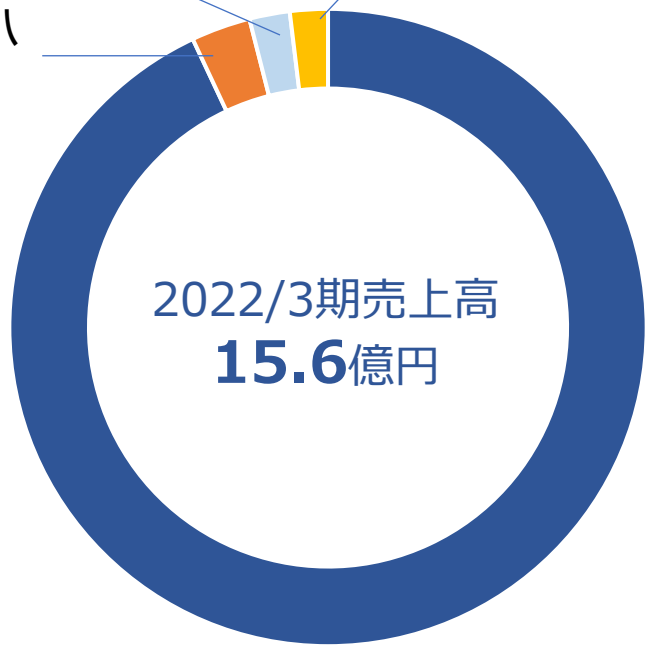
ユーザー企業

（写真提供：Lusix）

宝石に加工

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

製品分野別販売実績

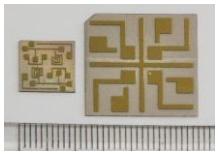


精密加工 切削工具等

工具素材
2.0%

光学部品・ヒートシンク
1.9%

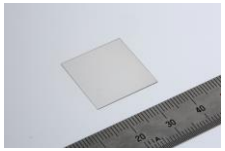
X線や赤外光窓材、デバイスからの熱を除去



パターン配線ヒートシンク

基板・ウエハ
3.0%

半導体基板材料



種結晶
93.0%

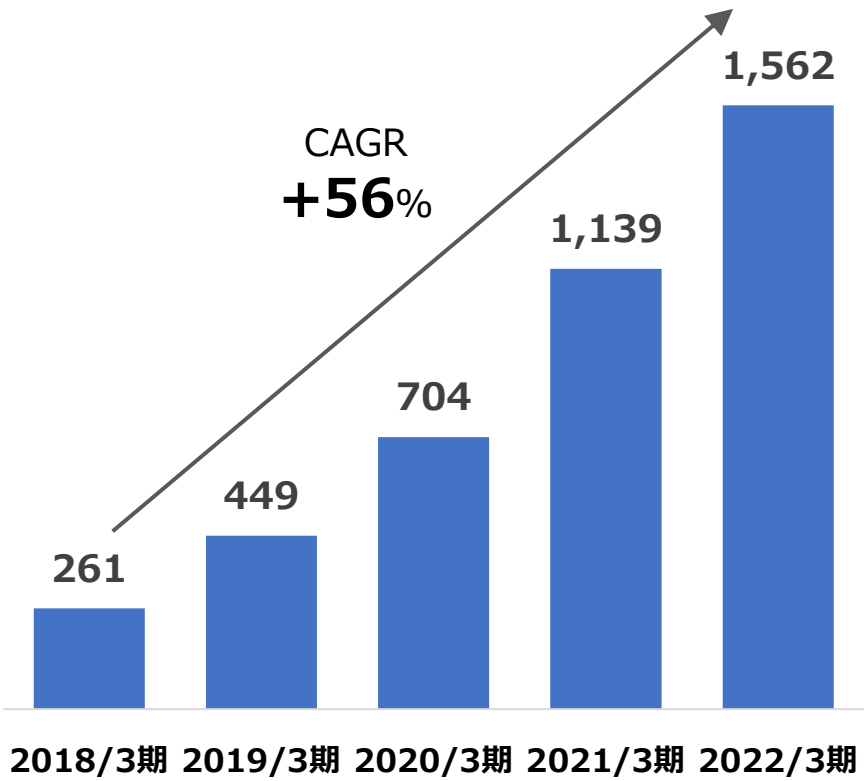
LGD生産の原料となる結晶

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

拡大するLGDの製造に必須の原材料販売で、高い成長率を実現

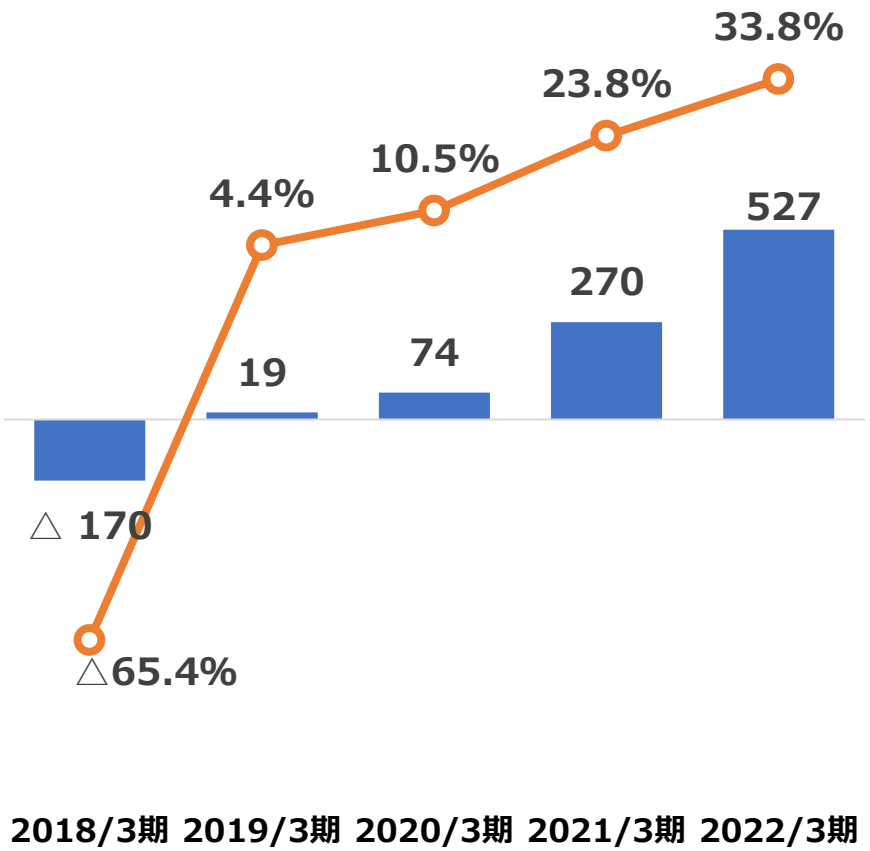
売上高

（百万円）



経常利益及び同利益率

（百万円）



copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

主要なポイント

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

主要なポイント

- ◆需要の増加の継続、円安及び生産効率の向上によって、予想を越える売上を達成
- ◆種結晶の引き合いは継続して堅調な状況。また、種結晶の生産効率の向上が今後も寄与することが見込まれ、円安定着の可能性が高いことも考慮し、23/3期決算見通しを上方修正
- ◆LGD市場の拡大基調が継続しており、当社種結晶への強い引き合いも継続。積極的な設備投資を継続して、売上の拡大を目指す
- ◆米国の金利政策等による為替相場の変動、エネルギー費高騰による動力費等の増加、人件費の増大については引続き注視

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

2023/3期1Q決算実績

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

2023/3期1Q決算ハイライト

売上高
+28.4%
（対前年4Q比）

経常利益
+101.5%
（対前年4Q比）

経常利益率
47.0%

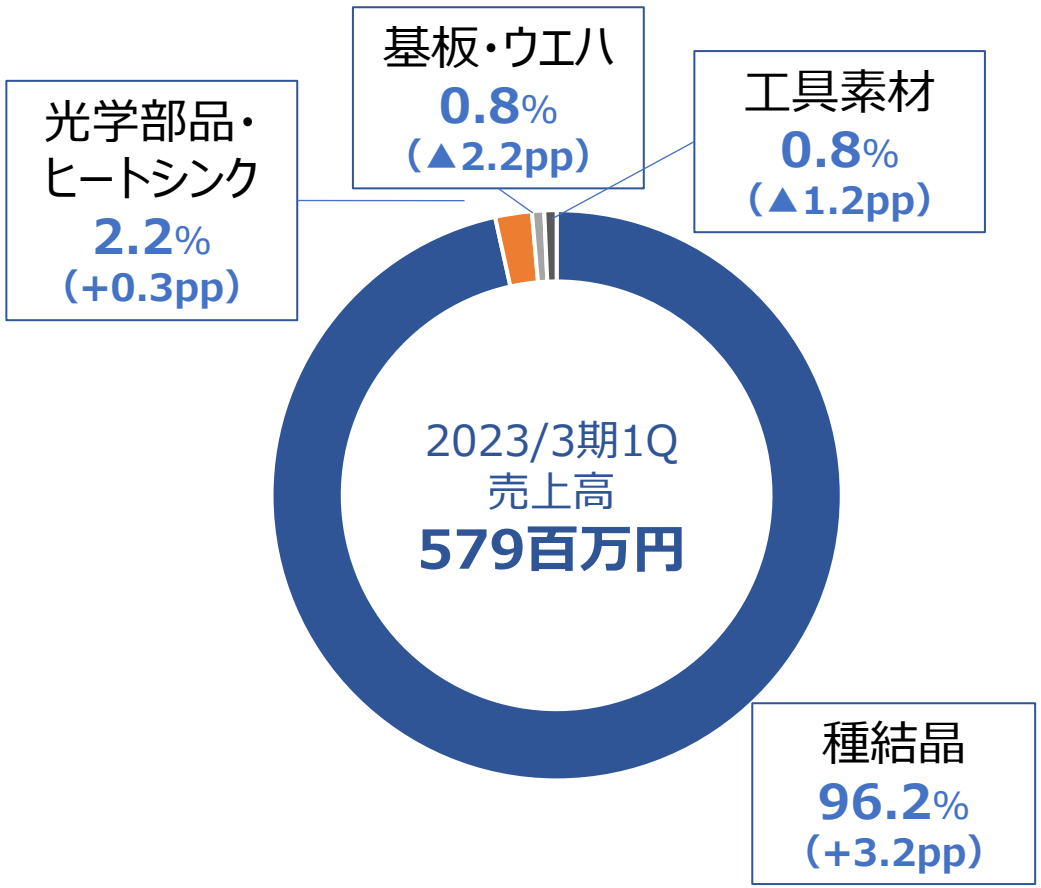
大型種結晶*比率
30.2%

*10×10mm以上

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

1Q売上構成

2023/3期1Q売上構成（vs.22/3期）



- ✓ 基板等や光学部品・ヒートシンクは例年通り年度初めは売上が少ない。年度後半に向けて増加と予想
- ✓ 種結晶の強い引き合いが継続。全社売上に占める種結晶の比率は、前期より増加

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

2023/3期1Q決算概況

（単位：百万円）	2021/3期 実績	2022/3期 実績	2023/3期		
			1Q実績	通期予想	進捗率
売上高	1,139	1,562	**579**	2,719	**21.2%**
種結晶	999	1,453	**557**	2,599	**21.4%**
宝石原石	–	–	**–**	5	**–**
基板及びウエハ	58	47	**4**	37	**10.8%**
光学部品及びヒートシンク	34	29	**12**	58	**20.6%**
工具素材	47	32	**4**	19	**21.1%**
営業利益	267	520	**241**	940	**25.6%**
経常利益	270	527	**272**	965	**28.1%**
当期純利益	253	374	**197**	675	**29.1%**

種結晶生産能力（カラット）	90,000	110,000	**112,000**	150,000	4%
平均市場為替レート（円/ドル）	105.9	112.9	**128.2**	133.9	

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

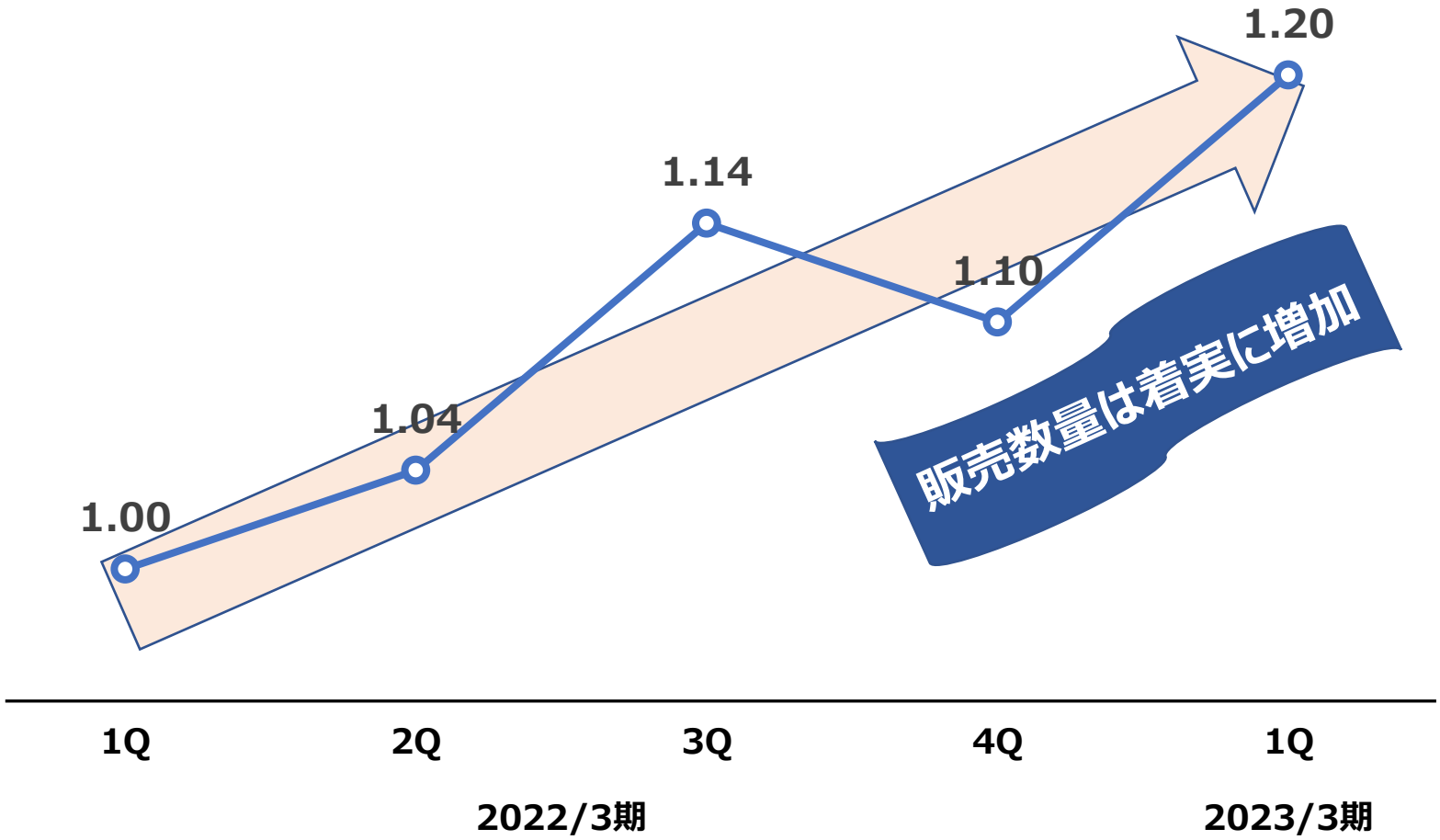
前四半期比較(2022/3期4Q対比)

（単位：百万円）	2022/3期 4Q	2023/3期 1Q	対前4Q	
			増減額	増減率
売上高	451	**579**	**+128**	**+28.4%**
種結晶	414	**557**	**+143**	**+34.5%**
宝石原石	–	**–**	**–**	**–**
基板及びウエハ	17	**4**	**▲13**	**▲76.5%**
光学部品及びヒートシンク	8	**12**	**+4**	**+50.0%**
工具素材	11	**4**	**▲7**	**▲63.6%**
営業利益	133	**241**	**+108**	**+81.2%**
経常利益	135	**272**	**+137**	**+101.5%**
当期純利益	89	**197**	**+108**	**+121.3%**
年間成長能力（カラット）	110,000	**112,000**	**+2,000**	**+1.8%**
平均市場為替レート（円/ドル）	115.5	**128.2**	**+12.7**	–

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

種結晶販売数量推移

*2022/3期1Q＝1として指数化

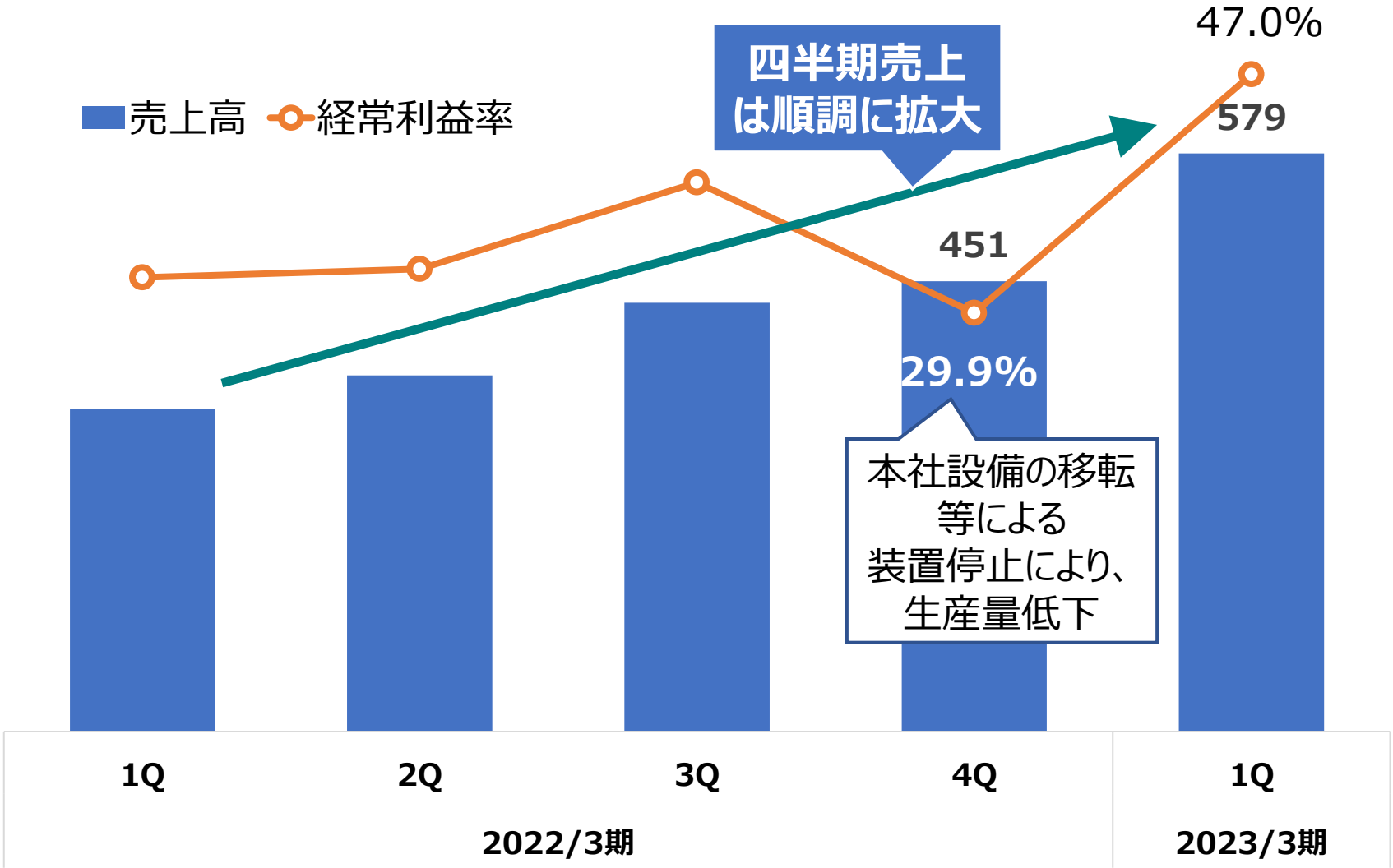


copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

四半期別決算概況

四半期別売上高及び経常利益率の推移

（単位：百万円）

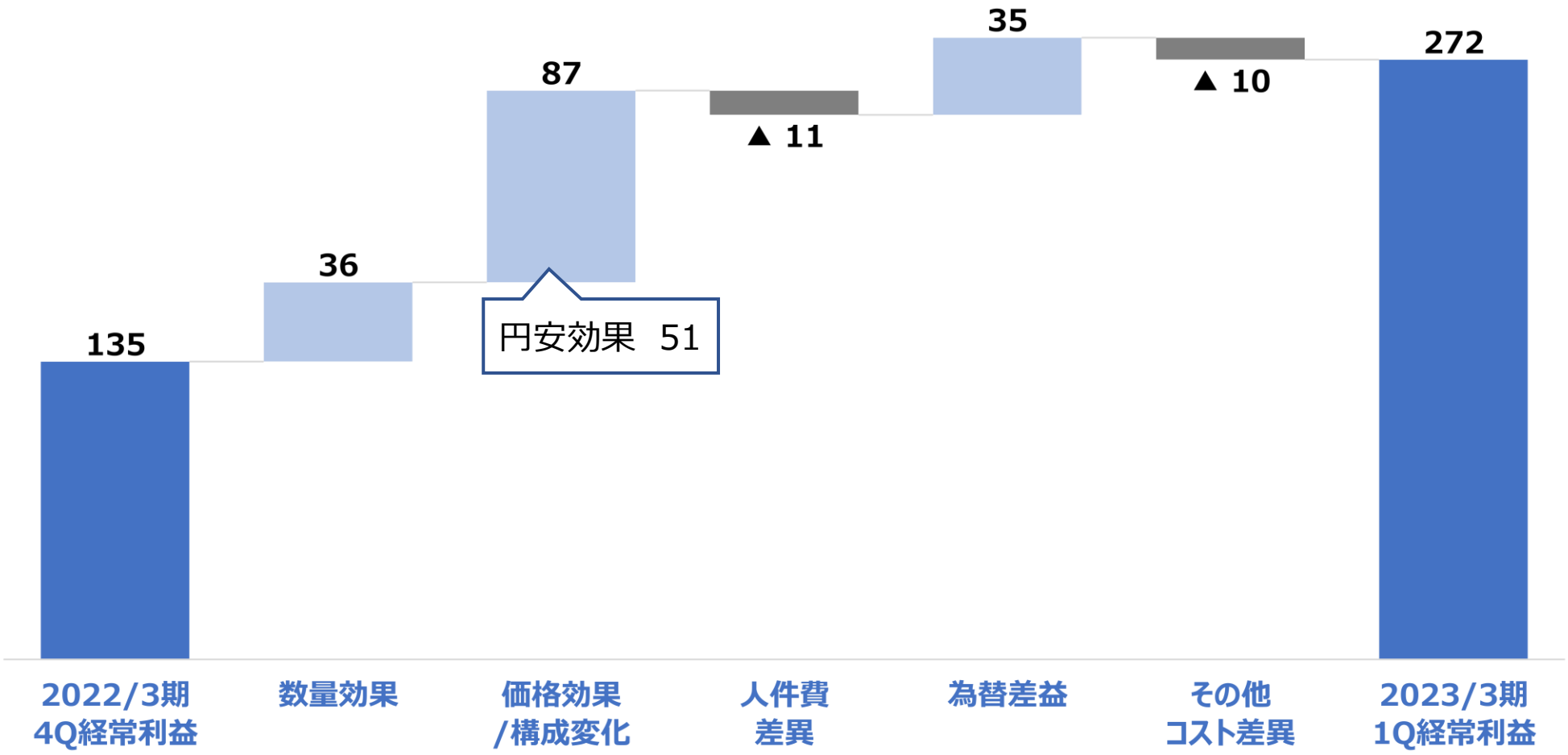


copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

経常利益　増減益要因分析

経常利益の増減益要因分析

（単位：百万円）



copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

B/Sの概況

（百万円）	2021/3期	2022/3期	2023/3期 1Q	前期末差異
流動資産	1,186	1,418	**3,054**	**+1,635**
現預金	948	1,066	**2,607**	**+1,540**
売上債権	100	137	**218**	**+80**
棚卸資産	104	171	**198**	**+26**
固定資産	1,094	1,398	**1,553**	**+154**
有形固定資産	1,002	1,335	**1,501**	**+165**
総資産	2,280	2,817	**4,607**	**+1,790**
負債	645	772	**704**	**▲67**
仕入債務	10	18	**14**	**▲3**
有利子負債	452	439	**417**	**▲22**
純資産	1,634	2,045	**3,902**	**+1,857**
負債及び純資産	2,280	2,817	**4,607**	**+1,790**

棚卸資産の大半が、仕掛や親結晶。製品在庫は少ない

設備投資継続

増資により拡大
自己資本比率
84.7%

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

2023/3期通期決算見通し

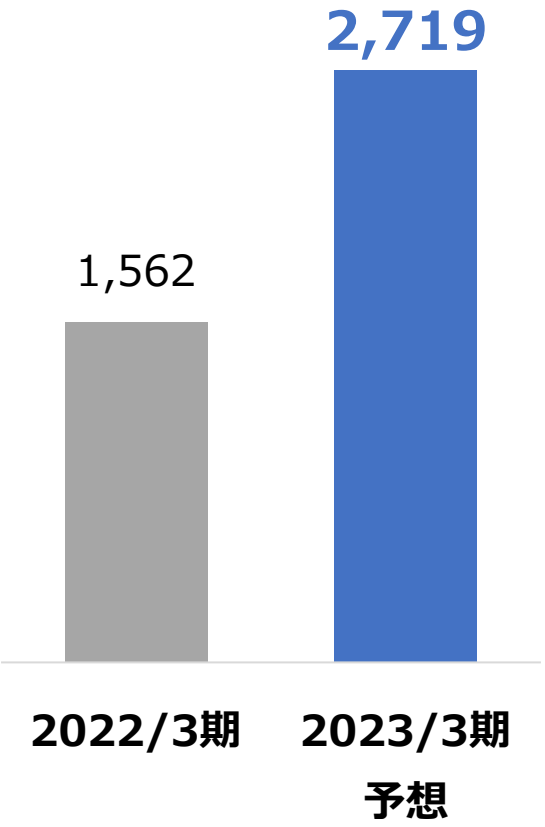
copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

2023/3期通期見通し

売上高

（百万円）

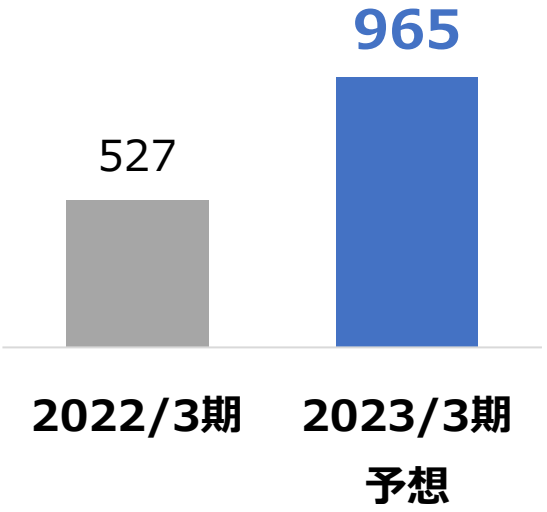
前年比 +74.1%



経常利益

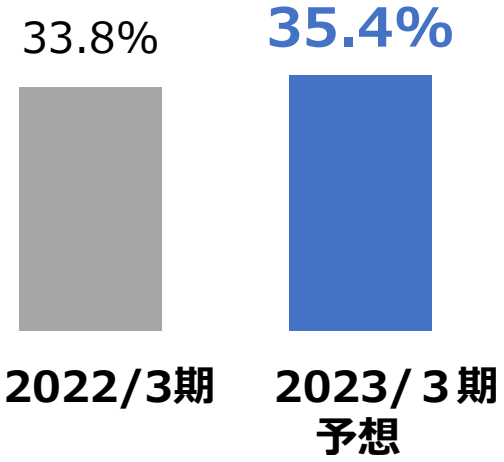
（百万円）

前年比 +83.1%



経常利益率

前年比 +1.6pp



copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

通期見通しの上方修正

	従来見通し		修正見通し	
売上高	2,415百万円	→	2719百万円	+12.6%
経常利益	737百万円		965百万円	+30.9%

主たる修正要因

為替前提 ：	通期110円/ドル	→	8月以降 135円/ドル 通期 133.9円/ドル
種結晶販売指数：	1.15		1.25

2021年度第1四半期を１とした指数

種結晶生産量は、強い受注状況の継続に加え、
生産効率の引上げが当初想定以上であることを反映

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

2023/3期見通し概況

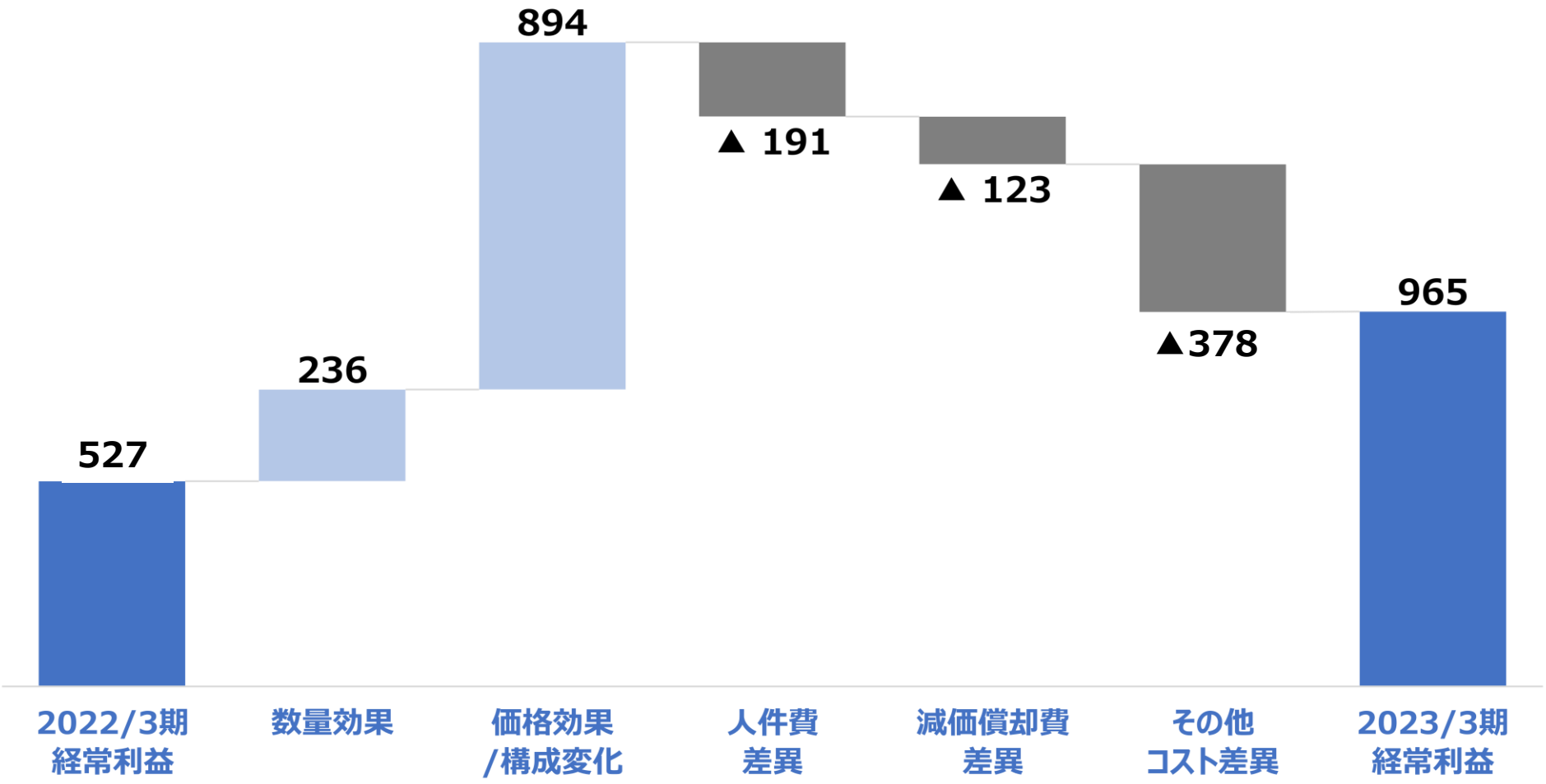
（単位：百万円）	2021/3期 実績	2022/3期 実績	2023/3期		対前年比	
			従来見通し（6/27）	修正見通し（8/12）	変化額	変化率
売上高	1,139	1,562	2,415	**2,719**	**+1,157**	**+74.1%**
種結晶	999	1,453	2,255	**2,599**	**+1,146**	**+78.9%**
宝石原石	–	–	20	**5**	**5**	**–**
基板及びウエハ	58	47	60	**37**	**▲10**	**▲21.3%**
光学部品及びヒートシンク	34	29	50	**58**	**+29**	**+100%**
工具素材	47	32	30	**19**	**▲13**	**▲40.6%**
営業利益	267	520	762	**940**	**+420**	**+80.8%**
経常利益	270	527	737	**965**	**+438**	**+83.1%**
経常利益率	23.7%	33.8%	30.6%	**35.4%**	**+1.6pp**	
当期純利益	95	374	486	**675**	**+301**	**+80.5%**
成長能力（カラット）	90,000	110,000	150,000	150,000	+40,000	+36.3%
平均市場為替レート（円/ドル）	105.9	112.9	110.0	133.9	+21.0	–

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

経常利益　想定増減益要因分析

想定経常利益の増減益要因分析

（単位：百万円）



copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

考慮すべき事項

- ◆島工場の建設は順調に進んでおり、第３四半期に稼働を開始するとの計画に変更はない。既に取得した生産性の向上策は、島工場にも展開する。
- ◆為替変動状況とエネルギー価格上昇が、売上及びコストに与える影響が大きい。為替変動へのヘッジで想定以上の変動を回避し、省エネ施策を強化することで、これ等の変動に対応する。
- ◆種結晶ユーザーの動向を見極めて、設備投資計画の柔軟な対応を行う。また、ウエハ等の新製品開発にも注力する。

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

Appendix

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

会社概要

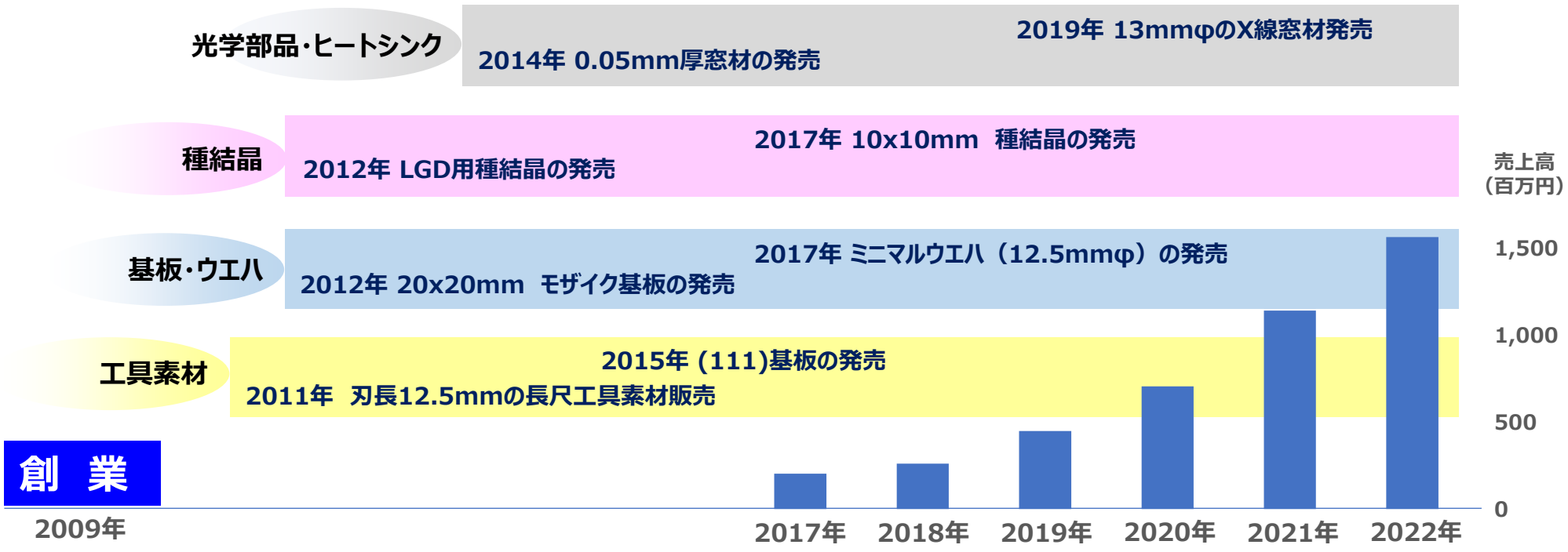
社名	株式会社イーディーピー　[英語名：EDP corporation]
代表者	代表取締役社長　藤森　直治
設立年月	2009年9月8日（産総研発ベンチャー第100号）
本社所在地	大阪府豊中市上新田4丁目6番3号
工場	横江第１工場、横江第２工場
資本金	13億2542万円（2022年6月30日現在）
役員構成 （2022/6/28現在）	代表取締役社長　藤森　直治 専務取締役　髙岸　秀滋 常務取締役　林　雅志 社外取締役　北城　恪太郎 社外取締役　加茂　睦和 常勤・社外監査役　岡田宗久 監査役　西野　徳一 社外監査役　池見達穂
事業内容	ダイヤモンド単結晶の製造、販売、開発事業
売上規模	15億62百万円（2022年3月期）
従業員数	68名（パート、派遣20名を含む）（2022年6月30日現在）
総資産	46億765万円（2022年6月30日現在）
主な取引先	インド、イスラエル、米国等の宝石製造メーカー、計測器メーカー、エレクトロニクス関連企業、国内外の各工具メーカー、産総研等国内の研究機関、大学、海外の大学研究機関、台湾、韓国等海外工具メーカー

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

沿革

- 産総研で開発した大型ダイヤモンド単結晶製造技術の事業化を目的として設立。現社長の藤森が産総研ダイヤモンド研究センター長として技術開発を主導し、2009年に創業
- 気相合成法*による人工宝石製造に不可欠な種結晶を2012年に発売し、現在の形状をデファクトスタンダード化。ビジネスの広がりとともに、世界各国の人工宝石製造企業へ販売
- また、ダイヤモンドの優れた特性を生かす、光学部品、ヒートシンク、センサー、電子デバイスとしての応用開発は世界中で進展しており、研究開発用の各種基板、ウエハ、窓材、ヒートシンク素材等を研究機関や企業に供給

*気相合成法：気相（ガス）から成長したダイヤモンド単結晶を、加工せずに直接取り出す手法



copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

当社マーケットポジション

- LGD市場はジュエリー加工まで多段階で構成されるサプライチェーンで、当社が製造販売する種結晶供給はその最上流に位置する
- LGDを用いた宝飾品は、価格面・品質面での安定性を追い風に着実に浸透。当社はLGDに必須の原料である種結晶の主要プレーヤーの一社。当社の他、宝石製造メーカー自身による内製化の動きや、他業界からの新規参入も散見される

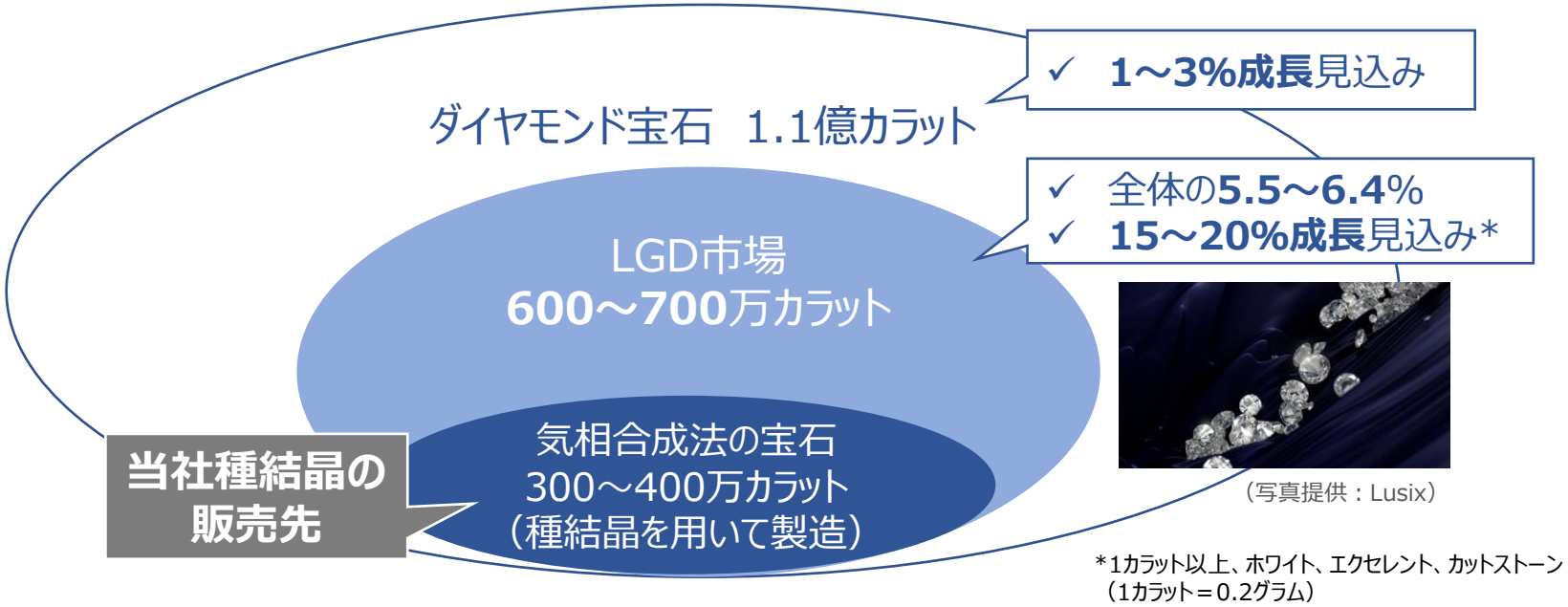
（*出所） Bain and Company「The Global Diamond Industry 2020-21」 ラフ、ルースの市場規模は天然ダイヤモンドを含む

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

LGD市場規模　生産高

- ダイヤモンドは研磨剤や工具としての利用もあるが、宝石市場は他の市場の10倍以上の規模があり、重要な位置づけ
- 世界のダイヤモンド宝石（ルース）市場はおよそ1.1億カラット（＝22トン）。うち、6%程度をLGD市場が占める。LGDは、鉱山開発による自然破壊や、児童労働の問題が無く、天然の持つ倫理的（SDGs）な問題点が無いことで、消費者に優位性が評価されている。その成長率は宝石市場全体の成長速度を上回り、シェアは今後も拡大が見込まれる
- 気相合成法（CVD法）はLGD製法の一つ。高品質（カラーグレードが高い）、大型宝石（２カラット以上）製作に適した技術

世界のダイヤモンド宝石生産高（2020年見通し）



（写真提供：Lusix）

*1カラット以上、ホワイト、エクセレント、カットストーン（1カラット＝0.2グラム）

（出所）Bain and Company「The Global Diamond Industry 2020-21」

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

当社の量産技術

- 当社は産総研開発の製造技術の実用化（量産化）のために、その技術を知り尽くしたダイヤモンド研究センター長が在職中に創業したスピンアウトベンチャー
- 産総研の基本技術の量産技術への転換が課題だったが、創業者が企業で様々なダイヤモンド製品の実用化を手掛けた経験を基に、モザイク結晶を使うユニークな製造フローを確立。品質、コストの両面で優位に立つ技術として、種結晶等を製品化

モザイク結晶自体を親結晶として用い、
イオン注入による分離技術で、
親結晶と同じサイズのモザイク結晶を量産

EDP Excellent Diamond Products

モザイク結晶を使用する量産技術		製品化技術
ラボレベルの技術を量産技術に発展	個別プロセスの改良、生産性向上、量産規模などを達成	ユーザーの多様な要求に応える体制 高付加価値製品指向

独占実施権

産総研

プロセスが確立して8年以上経過
ノウハウを大量に蓄積
量産のカギになる親結晶を大量保有

板状単結晶製造技術
（イオン注入による成長結晶分離）

＋

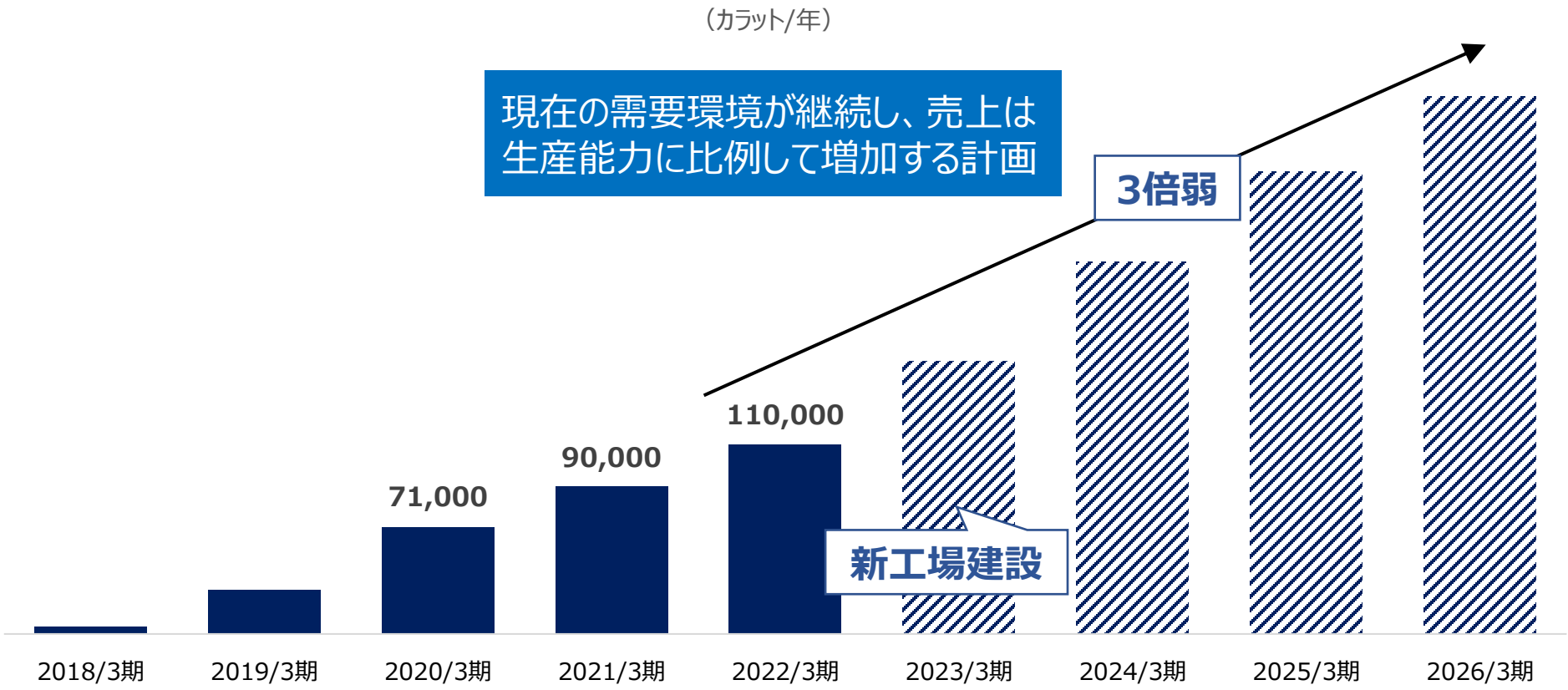
モザイク結晶作製技術
（産総研が特許保有）

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

当社の生産体制

- 茨木市に横江第１、第２の２工場と、名古屋の外注先での生産を行って来たが、ほぼフルキャパ状態で増産は困難な状況
- 上記２工場の近くに、2200m²の新工場建設を2023年3月期に建設する計画で、5月に建屋を着工する。10月に完成後は、毎年生産設備の増強を行って、2026年3月期の生産能力は現在の３倍弱に達する見込み
- 開発した新成長装置の導入により、成長面積が拡大し、成長装置１台当たりの生産能力も倍増を目指す

成長装置の単結晶成長量の推移

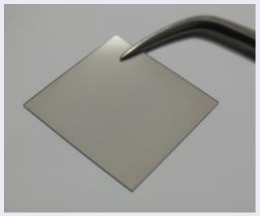


*2022/3期以降は計画

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

技術開発による新市場創成

- ダイヤモンドの持っている高熱伝導率や光やＸ線を透過する等の優れたダイヤモンドの特性を利用。デバイスの除熱や光学機器等に応用される。当社ダイヤモンドが大型サイズ＋安価＋大量生産可能の特徴を合わせ、競争優位性を発揮
- 今後、ヒートシンク、光学部品、半導体デバイス向けの素材市場創成に挑戦。これらの製品が適用される機器やシステムは、省エネ効果や高速情報通信等を実現できる重要な産業要素であり、当社としESGへの貢献が拡大する

当社単結晶	ダイヤモンドの優れた物性	市場創成
 大型＋低価格＋大量生産	半導体特性	✓ パワーデバイス、センサー等の新デバイスを製作プロセス用ウエハを提供（23/3期を計画）
	高い熱伝導率	✓ 高周波デバイス、パワーデバイス等の温度対策用ヒートシンク、高密度電磁波透過窓等の光学部品
	光やX線の透過特性	✓ 放射光施設、光学計測機器などに使用する窓材やセンサー

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

財務ハイライト

決算年月		2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月 1Q
売上高	千円	261,304	449,049	704,258	1,139,979	1,562,260	**579,680**
当期（四半期）経常利益又は経常損失	千円	△170,861	19,795	74,140	270,747	527,877	**272,796**
当期（四半期）純利益又は純損失	千円	△175,349	8,723	95,056	253,346	374,816	**197,196**
資本金	千円	183,750	190,000	234,240	477,420	495,170	**1,325,420**
発行済株式総数	株	17,700	18,200	18,753	21,453	2,180,800	**2,545,300**
純資産額	千円	696,367	717,590	895,596	1,634,943	2,045,259	**3,902,956**
総資産額	千円	957,873	1,102,207	1,549,031	2,280,212	2,817,554	**4,607,651**
１株当たり当期（四半期）純利益又は純損失	円	△101.07	4.88	51.34	131.54	174.13	**89.16**
自己資本比率	%	72.7	65.1	57.8	71.7	72.6	**84.7**
自己資本利益率	%	–	1.2	11.8	20.0	20.4	**–**
営業キャッシュフロー	千円	–	–	191,951	440,577	635,000	**–**
投資キャッシュフロー	千円	–	–	△434,012	△401,284	△545,005	**–**
財務キャッシュフロー	千円	–	–	309,129	525,955	15,666	**–**
現金及び現金同等物の期末残高	千円	–	–	372,126	948,034	1,066,995	**2,607,422**
従業員数	名	26	26	31	34	44	**48**

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.